

一般質問(文責は質問者)

市政を問う

# 産直かみごうの今後について



瀧澤 征幸 議員  
(とおの 会議)

を実施してきた。

平成21年12月の月間有効求職者数が636人に対し月間有効求人数は196人分しかない。そのため、有効求人倍率も0.31倍と、昨年同期よりも低い状況である。

景気浮揚の為の経済対策

**問** 全国的な課題である経済対策や雇用確保は本市にとっても喫緊の課題だが、新年度予算編成にあたり、本市の経済の活性化策、雇用対策について伺う。

**答** 市内経済の状況は、賃金調整や稼働時間調整で凌いでいる企業もあり、まだまだ景気回復基調にあるとはいえない。

この為、国の基金事業である「ふるさと雇用再生特別基金事業」や「緊急雇用創出事業」を活用した雇用の場の確保や資格習得事業

ハード、ソフトの両面から遠慮らしい事業を展開していく。

**問** 産直かみごうは、市の指導のもと仮設営して3年経過したが、その見通しが立っていない。今後の整備方針や整備時期は？

**答** 産直は、地域の活性化や地産地消、そして農家所得に大きく貢献しているが、一方で県内産直の状況は、平成16年度の291か所をピークに産直が減少傾向にあり、競争が激化している状況にある。

「産直かみごう」については、現段階ではなお精査すべき課題があるとの認識から、独自の販売メニュー、運営体制、建築規

模及び場所等について、計画の詰めや補強を行うための調査を行う。また、施設整備にあたっては、国・県の補助事業の有効活用が重要ポイントと考えている。

**【その他の質問】**

・農林水産振興ビジョンについて

・総合食育センター構想者の合意形成を図り、平成



新規整備が待たれる産直かみごう